

神戸大学交響楽団

第30回記念

定期演奏会



第30回記念定期演奏会

昭和55年12月21日(日)

神戸文化ホール(大)

神戸大学交響楽団

交響詩「わが祖国」より「モルダウ」……………ス メ タ ナ

指揮 小 畑 佳 正

..... 休 憩

交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱つき」……………ベートーヴェン

指揮 岡 田 司

独 唱 ソプラノ 永 井 和 子
 アルト 桂 斗 伎 子
 テノール 田 原 祥 一 郎
 バリトン 三 室 堯

合 唱
 神戸大学混声合唱団 アポロン
 神戸大学 グリークラブ
 神戸女子薬科大学 コーラス部
 親和女子大学 コーラス部
 神戸海星女子学院大学 グリークラブ
 他

合唱指揮 櫻井武雄



安全な運転技術、それがカーライフの第一歩!!

ジェームス山自動車学院

ご希望の方には入学案内書を無料送付いたします

■三宮申込所 星 電 社 (5Fドライブコーナー)	■元町申込所 大丸神戸店 (1Fプレイガイド)
■新長田申込所 ジョイ・プラザ (1F案内係)	■名谷申込所 スマ・パティオ (2Fプレイガイド)

神戸市垂水区青山台5丁目4の3 TEL (751)1221 (代)

受付 毎日

入学 毎土曜日



指揮者 岡田 司

1953年、大阪に生まれる。

神戸大学経営学部卒。指揮法を、故・斎藤秀雄、山田一雄、フルートを林リリ子の各氏に師事する。

広島交響楽団、NHK大阪放送合唱団、アルフィーネ室内合奏団、アンサンブル＝モーツァルティアーナ他、数多くの団体と共演している。

79年夏には渡米して研鑽を積み、帰国後は東京及び関西の二期会オペラ公演でも副指揮を務めており、本年12月の関西二期会の室内オペラ公演にはオペラ指揮者として初登場した。



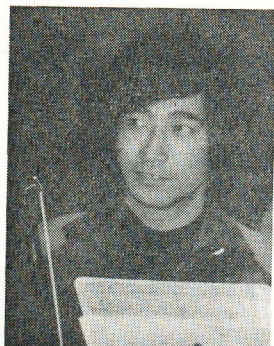
指揮者 小畑 佳正

多くいる部員の中に、絶対欠くことのできない人物というのが数人いるが、氏もその中の一人である。学生指揮者、チェロのパートリーダーという肩書きからも神大オケにおける氏の存在の大きさが理解できよう。

このように現在指導的立場にある氏も、本格的に音楽活動を始めたのは大学入学後のことなのである。しかし、中学・高校六年間バスケットで鍛えた自慢の体力と持ち前の粘りによりめきめきその頭角を現わし、音楽にかけてはかなりうるさい部員達の中でトップに立つことになったのである。またクラブに注ぐ氏の情熱もなみなみならぬものがあり、総合練習やパート練習においては日頃の温和な性格からは考えられない程エキサイトすることもある。

あまりにもクラブに熱を入れ過ぎるために一時は心配された氏の就職も大手電気メーカーに決定し、現在は部員一同ほっとしている次第である。

「モルダウ」の指揮、「第九」のチェロのトップと大活躍の今日の演奏会は、氏にとっては四年間の総決算であり特に印象深いものとなるであろう。



コンサートマスター 強力 真一

氏はその外見にも感じられるように、繊細で温厚な心の持ち主であり、アクの強い人間が溢れる当オケを引っぱっていくには、かなりの心労があったものと思われる。しかし、2nd パートリーダー時代に養われた忍耐力と責任感をもってそれをはねのけ、コンマスの任務を果たす一方、合宿中にも大好きなお酒を我慢して勉強するという努力によって、競争率の高い大学院に見事合格したのであります。

氏のバイオリン演奏は、あくまでも楽譜に忠実であり、あまり派手なところはなないものの、音色の美しさには真似のできないものがあります。非常に練習熱心で、常に完璧なものを目指しているように思われます。

かつてはパーマをかけ「オバサン」に間違えられた氏も最近は変化がなくおもしろくないのですが、院に進んでからも顔を見せてくれるようですから期待したいと思います。



ソプラノ 永井 和子

大阪音楽大学を卒業後、関西歌劇団に入団。以来「ドン・ジョバンニ」「魔笛」「フィガロの結婚」「椿姫」「お蝶夫人」や「トロバトーレ」「アイーダ」「運命の力」「ドン・カルロ」等にプリマ・ドンナとして主演する。その間、リサイタルを開催する他、オラトリオ、第九のソリストとして大阪フィルとの共演も多い。
現在、大阪音楽大学教授。



アルト 桂 斗伎子

昭和20年、東京芸術大学卒業。昭和31年のリサイタルの成果で、大阪市民文化祭受賞。今迄に9回のリサイタルを開く。数多くのオペラに出演。「カルメン」のカルメン、「アイーダ」のアムネリス、「トロバトーレ」のアズツェーナ、「マダム・バタフライ」のスズキ等で活躍し、昭和48年大阪府民劇場奨励賞を受賞。大阪フィルのベートーヴェン「第9交響曲」のソリストとしての出演も多く、大阪フィル第100回定期マーラー「1000人の交響曲」（レコード既発売）のソリストなど、オーケストラとの共演に活躍し、又、ストラビンスキー、シェーンベルク、ウェーベルン、バルトーク等の曲で「現代音楽祭」にも度々出演している。現在、大阪音楽大学教授、関西歌劇団理事。



テノール 田 原 祥一郎

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院オペラ科修了。第35回毎日音楽コンクール第2位。同海外派遣特別審査会第1位。昭和43年よりイタリア・ミラノに留学。声楽国際コンクールに於て、ヴィオッティ金賞、ロニーゴ第2位、メラーノ第1位、エンナ第1位、バルセロナ第2位を受賞。

昭和46年帰国後、オペラでは「魔笛」「マルタ」「ラボエーム」「カバレリア・ルスティカーナ」「コシファントウツテ」等に出演。その他数多くの演奏会に出演。「メサイア」「第九」のソリストとしても活躍。

現在、大阪音楽大学教授、二期会会員。



バリトン 三 室 堯

昭和31年兵庫県立神戸高校卒。昭和36年大阪音楽大学音楽学部声楽科卒。関西歌劇団入団。その秋「フィガロの結婚」のフィガロでデビュー。それ以後「ドン・ジョバンニ」のレポレロ、「魔笛」のパパゲーノ、「カバレリア・ルスティカーナ」のアルフィオ、「お蝶夫人」のシャープレス、「アイーダ」のアモナスロ、「コシファントウツテ」のグリエルモ、「トロバトーレ」のルーナ伯爵、「運命の力」のドン・カルロ、「ボセイドン仮面祭」の警察長官、「ドン・カルロ」のロドリゴ、「椿姫」のジェルモン、「パリアッチ」のシルヴィオ、「トスカ」のスカルピア、「ボエーム」のマルチェロ等に出演。又ベートーヴェンの「第九交響曲」、「荘厳ミサ」、ヘンデルの「メサイア」、ドヴォルザークの「スタバート・マーテル」、ハイドンの「天地創造」、「ネルソン・ミサ」、ブルックナーの「ミサ」その他のソリストとして出演。大阪音楽大学在学中、横井輝男氏、山本徹氏に師事。卒業後内本実氏に師事、現在に至る。